

港区コミュニティバス  
ちいばす

※このルートは、2011年  
3月現在のものです。



番号	停留所名称	番号	停留所名称
14	麻布十番	98	有栖川宮記念公園
14-2	鳥居坂下	99	広尾駅
20	麻布十番公共駐車場前	100	天現寺橋
93	麻布十番駅前(一の橋)	101	光林寺
94	仙台坂下	102	仙台坂上
95	仙台坂上	103	仙台坂下
96	元麻布二丁目	104	二の橋
97	愛育病院	105	麻布十番二丁目

# 麻布十番・元麻布・南麻布 歴史散策マップ

平成23年3月 編集：あざぶ達人倶楽部 中級情報発信チーム

ナニカがありそう!? このまち…

幕末から明治・大正・昭和・平成の歴史が点在するまち麻布。造形美、創造美そして『赤い靴ハイテク』きみちゃん像をこの世に送り出した人間サマが住むまちAZABU。

麻布の街は、江戸時代には大名屋敷や寺院の街であったが、明治以降は著名人の邸宅や旧家の建物、教会が立ち並ぶ街となった。これらは戦災にあわなかったため、寺院が所有する文化財や建物が、数多く残されている。

また、高低差が激しく坂が多いことでも知られ、低地は商人や職人の街、高台はお屋敷の街ということから、低地と高台でそれぞれ異なる文化があった。



御府内 沿革図書 文久2年(1862年)



御府内 沿革図書 文久2年(1862年)

## 寺社

- 麻布十番稲荷神社** 麻布十番1-4-6

港七福神の一か所。宝船、がま池に繋がる蛙の碑、網代橋欄干柱石があり、酉の市が行われる。



- 大法寺** 元麻布1-1-10

港七福神の一か所。秘仏に最澄作「三神具足の大黒天(手に大黒天の小槌、頭髮は弁財天、肩から毘沙門天の鎧を掛けている)」があり、「一本松の大黒様」と地元の人々に親しまれている。寺前の坂を大黒坂という。2月3日の節分には、追儺式祈祷の法要の後、豆まきが行われる。



- 麻布氷川神社** 元麻布1-4-23

港七福神の一か所。毘沙門天があり、アニメ「セーラーMoon」の中では火川神社として登場した。千貫神輿と呼ばれる大きな神輿があり、9月の例祭に公開されている。



- 善福寺** 元麻布1-6-21

柳の井戸、国の天然記念物で都内で一番の巨木の逆さイチヨウ、福沢諭吉墓所、越地吹雪の碑があり都旧跡で最初のアメリカ公使館になり、ハリスの碑が残されている。



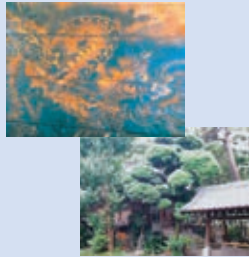
- 天真寺** 南麻布3-1-15

区有形文化財の一の谷・屋島合戦図屏風、紙本着色出山釈迦図、大嶺宗碩関係資料、松平不昧・月潭書状、松平不昧関係遺品がある。(非公開。港区立港郷土資料館にレプリカがあり、不定期だが展示されている。)



- 廣尾稲荷神社** 南麻布4-5-61

拝殿は弘化4(1847)年建設、本殿は大正14(1925)年建設。拝殿の天井画「黒龍図」は近代洋画の先駆者・高橋由一が狩野派の絵師藍川藤原考経時代に弱冠20歳で描いた大作。建物と共に区の有形文化財となっている。広尾の庚申塔もある。



- 天現寺** 南麻布4-2-35

本尊は平安時代後期製作の檜材一木造りの毘沙門天像で、徳川家康の持仏。境内には光孝天皇御陵の物と言われる多層式灯籠や、江戸時代糸桜の下で句会を主宰していた人々により芭蕉の句碑が建てられている。「一里はみな花守の子孫かや」。芭蕉が伊賀の花里で詠んだ句である。



## 公園

- 有栖川宮記念公園** 南麻布5-7-29

昭和9年開園。江戸時代は常陸笠間藩浅野家下屋敷、陸奥盛岡藩南部家下屋敷。都立中央図書館や有栖川宮家の池がある。園内の有栖川熾仁親王の銅像は彫刻家ラグーザ教授(「人物4」参照)より直接指導を受けた大熊氏広の代表作のひとつ。



## 史跡・遺跡

- 一本松** 元麻布1-2

麻布七不思議の一か所で、現在の松は五代目。いくつかの伝説が、地元の人に語り継がれてきた。



- 東京統制無線中継所跡** 元麻布3-8-43

「マイクロウェーブ幹線創始の地」記念碑がある。この無線中継により、昭和38(1963)年、ジョン・F・ケネディ アメリカ大統領の狙撃の様相が、日本の茶の間にもダイレクトにテレビ中継された。



- 龍澤寺** 元麻布3-10-5

最初の麻布区役所があった場所で、明治42年に現在の六本木三丁目に建設された区役所は、現在、武蔵境にある日本獣医生命科学大学の本館として利用されている。



- 本村町貝塚** 南麻布3-11-12

縄文時代前期の貝塚で、当時は東京湾の海水がここまで入り込んでいた。



## 建物

- 西町インターナショナルスクール** 元麻布2-14-7

松方正義の孫、松方種子が昭和24(1949)年に日本語と英語による教育を始めた。現在は30カ国の子ども達が在籍し、国際的な視野と立体的な思考力を持つ人間に育つよう教育されている。建物はウィリアム・メレル・ヴォーリズの設計で、19世紀末の米国郊外住宅に類似する。



- 安藤記念教会** 元麻布2-14-16

創立者・安藤太郎(函館戦争で榎本武揚に従軍後、明治政府に登用され初代ハワイ総領事に。退職後、宣教に専念)が自宅を講義所として献げ、大正7(1918)年に設立が許可された。吉武長一設計の教会堂は都内でも珍しい大谷石で造られている。



- 圓澤寺表門** 南麻布2-14-14

19世紀に建てられた薬医門(一説には矢の攻撃を食い止める「矢食い(やぐい)」からきたと言われる)。



- 山岡嘉輔邸** 南麻布3-3-33

山岡嘉輔は宝暦年間(1751-1764)に近江から移り住んだ旧家で、昭和戦前までは薬・炭・薪などを扱う商店だった。1859年建設の旧店蔵、昭和8年建設の主屋がある。



- 明称寺** 南麻布3-21-19

本堂は土蔵造で、寄棟造妻入、棧瓦葺、前面には唐破風の向拝(仏堂の正面階段の上に張出した「ひさし」)を設けている。



- 日本基督教団麻布南部坂教会** 南麻布4-5-6

大正9(1920)年、ヴォーリズが始めた教会。建物はヴォーリズ自身の設計で昭和8(1933)年に建設された。



## 人物

- きみちゃんの像** 麻布十番2-3先

赤い靴のモデルになった岩崎きみは、海を渡ることなく、麻布十番稲荷神社の場所にあった鳥居坂教会の孤児院で、結核のため9歳でなくなった。



- 賢崇寺** 元麻布1-2-12

墓所には区史跡の肥前佐賀藩主鍋島家、久米邦武(岩倉使節団の一員)・久米桂一郎(画家)、蒲原有明(文学者)、市原清(リコー創設者)、二十二士の墓(2・26事件関係者の墓)がある。



- 専称寺** 元麻布3-1-37

新撰組の沖田総司墓所。沖田総司は、天保13(1842)年に生まれ、天然理心流の剣の達人。京都で反幕府勢力の鎮圧にあたるが、慶応4(1868)年5月30日労咳(現結核)により死亡。享年25歳。(非公開)



- 長玄寺** 元麻布3-5-16

エレオノラ・ラグーザ・玉の碑、墓所がある。文久元(1876)年江戸芝に生まれた。幼少より画力に優れ、明治9(1876)年、明治政府の要請により来日したイタリアの彫刻家ヴィンツェンツォ・ラグーザと絵画を通して知り合う。明治15(1882)年ラグーザの帰国に伴いイタリア・シシリー島パレルモ市に渡りパレルモ市立高等美術学校校長となったラグーザを副校長として助ける。国内外の美術展等数々出品受賞多数。昭和8(1933)年、52年ぶりに帰国、昭和14(1939)年4月6日逝去。享年79歳。



- 曹溪寺** 南麻布2-9-22

墓所には都旧跡の藤森天山の墓、赤穂四十七士の唯一の生き残り寺坂吉右衛門の墓がある。



- 光林寺** 南麻布5-7-29

区史跡のヘンリー・コンラッド・ジョアンズ・ヒュースケンの墓がある。ヒュースケンは初代総領事タウンゼント・ハリスに駐日アメリカ総領事館の通訳として雇われ1856(安政3)年来日。1861(万延元)年に芝赤羽接遇所から善福寺への帰途、攘夷派の薩摩藩士らに襲われ翌日死亡した。享年28歳。



## 大使館・大使公邸

- ドイツ大使公邸** 南麻布4-5-10

江戸時代は旗本酒井内蔵助下屋敷、明治時代は海軍囚獄署、大正~昭和時代は小泉策太郎(政治家・古美術収集家)邸。19世紀建設の武家門、富士見稲荷社、東屋、鐘楼がある。

- イランイスラム共和国大使館** 南麻布3-13-9

明治~昭和戦前は三井本村町家邸。

- フランス大使館** 南麻布4-11-44

明治~昭和戦前は尾張徳川家十七代徳川義親邸。

- 韓国大使館(建替え中)** 南麻布1-2-5

江戸時代は陸奥(現在の宮城県)仙台藩伊達家下屋敷、明治~昭和戦前は松方正義(政治家)別邸。

- 中国大使館** 元麻布3-4-33

大正時代は後藤新平(政治家・医者)邸、昭和戦時中は満州国大使館。